

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE



上松町



大桑村



南木曽町



長野県
Nagano Prefecture



木曽広域連合



AERONEXT



NEXT DELIVERY

2025年1月30日

上松町

大桑村

南木曽町

長野県木曽地域振興局

木曽広域連合

株式会社エアロネクスト

株式会社 NEXT DELIVERY

長野県木曽郡3町村における災害時対応を想定したドローン配送のお披露目フライト実施

上松町（町長：大屋 誠）、大桑村（村長：坂家 重吉）、南木曽町（町長：向井 裕明）、長野県木曽地域振興局（局長：渡邊 卓志）、木曽広域連合（連合長：原 久仁男）、株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路 圭輔、以下エアロネクスト）、株式会社 NEXT DELIVERY（本社：山梨県小菅村、代表取締役：田路 圭輔、以下 NEXT DELIVERY）、は、2025年1月28日（火）に、上松町、大桑村、南木曽町において 木曽郡における災害時対応を想定したドローン配送お披露目フライトを実施し、報道関係者に公開しました。

木曽郡では、郡内でのドローン活用、災害時の迅速な支援につながる取組として、木曽町、上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村、長野県、木曽広域連合、エアロネクスト、NEXT DELIVERY が共同し、郡内6町村を対象に、ドローンインフラ整備（ドローン配送ルート及び離着陸座標設定）を進めています。

今回のお披露目フライトは、その一環として大規模災害への備えに向けて行われたもので、具体的には、上松町、大桑村、南木曽町の災害時に孤立集落となり得る地域に災害支援物資を配送いたしました。



写真向かって左より木曽広域連合 楯憲吾、上松町長 大屋 誠、長野県木曽地域振興局 副局長 大日方明美、NEXT DELIVERY 取締役 運航統括責任者 青木孝人（上松町）



写真向かって左より木曽広域連合 楯憲吾、長野県木曽地域振興局 局長 渡邊卓志、大桑村副村長 中田陽一、NEXT DELIVERY 取締役 運航統括責任者 青木孝人（大桑村）



写真向かって左より木曽広域連合 楯憲吾、長野県木曽地域振興局 局長 渡邊卓志、南木曽町副町長 向井 庄司、NEXT DELIVERY 取締役 運航統括責任者 青木孝人（南木曽町）



物流専用ドローン AirTruck による災害支援物資を搭載した飛行を見守る住民（南木曽町 大野正兼集会所）



災害支援物資を搭載して着陸する物流専用ドローン“AirTruck”（大桑村 野尻向分館）



物流専用ドローン AirTruck により置き配された災害支援物資を受け取る住民（大桑村 野尻向分館前）

NEWS RELEASE

【実証実験概要】

1. 背景と目的

木曽郡は総人口 23,781 人（2025 年 1 月 1 日現在）。長野県の南西部に位置し、美しい木曽川を中心に豊かな森林や山々に囲まれた自然環境が広がっています。木曽川の支流や山間部からの湧水は、地域の農業や生活用水として利用されるだけでなく、周辺の生態系を支えています。一方で、自然災害のリスクが高く、大雨や土砂災害、地震による道路寸断など、有事の際には集落が孤立する可能性が指摘されています。特に中山間地域では、地理的条件からアクセスが制限される場合が多く、緊急時の物資輸送や医療支援が大きな課題となっています。また、木曽郡内では、地域住民の高齢化が進む中、災害発生時の迅速な支援体制の構築や、孤立集落の発生を防ぐための新たな取り組みが求められています。こうした状況に対応するため、ドローン技術の活用が注目されており、地域住民の利便性向上や有事の際の迅速な対応を目指し、DX 技術を活用したドローンの導入が模索されています。

このような背景を踏まえ木曽郡では、災害発生時に孤立地域へ迅速に物資を届ける仕組みとしてドローンを活用した防災インフラの構築を実施しました。

2. 実施内容

災害時に孤立集落となり得る地点に向け、災害時を想定した物資輸送の実証実験を実施しました。事業概要やドローン機体の説明後、以下3つのドローン配送のデモフライトを実施しました。

①上松町 よろまいか駐車場⇒台生活改善センター/②大桑村 大桑村役場駐車場⇒野尻向分館 /③南木曽町 渡島総合グラウンド⇒大野正兼集会所 ※計3ルート

【①ルート】上松町で孤立が想定される台生活改善センターに向けて災害物資輸送を想定したドローン配送を実施します。飛行距離約 4.6 kmを約 12 分かけて配送。

【②ルート】大桑村で孤立が想定される野尻向分館に向けて、災害物資輸送を想定したドローン配送を実施します。飛行距離約 4.1 kmを約 10 分かけて配送。

【③ルート】南木曽町で孤立が想定される大野正兼集会所に向けて、災害物資輸送を想定したドローン配送を実施します。飛行距離約 6.1 kmを約 15 分かけて配送。

機体はエアロネクストが開発した物流専用ドローン AirTruck^{*1}を使用しました。

上松町では、よろまいか駐車場から台生活改善センターまでの片道約 4.6 km・約 12 分を、災害支援物資を搭載してドローン配送しました。ドローン配送で災害支援物資を受け取った田中秀子さんは、「素晴らしい。置いて行ってもらえれば、非常に楽。もしもの時にはとても助かる。」とコメントしています。



ドローン配送された災害支援物資を受け取る田中さん
(上松町 台生活改善センター)

今後も災害時対応用のドローン配送ルートの構築及び座標設定を拡大していき、ドローン配送用のインフラ整備・構築をさらに進め、災害時の迅速な対応ができる地域づくりを進めてまいります。

※本実証実験は「令和6年度 木曽郡におけるドローンを活用した災害対策インフラ整備業務委託」として採択されています。

※本事業は「令和6年度長野県地域発 元気づくり支援金」を活用した事業です。

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

上松町 危機管理課危機管理係（担当：山田）

Tel: 0264-52-4902(直通) Email: kikikan@town.agematsu.nagano.jp

大桑村 総務課 危機管理係（担当：小垣外）

Tel: 0264-55-3080 Email: kobo@vill.okuwa.lg.jp

南木曽町 総務課（担当：西尾、吉村）

Tel: 0264-57-2001(内線 121、125) Email: soumu@town.nagiso.lg.jp

木曽広域連合 木曽広域情報センター（担当：楯）

Tel: 0264-21-2212 Email: k.tate@union.kiso.lg.jp

長野県木曽地域振興局（担当：坂家）

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

Tel: 0264-25-2122 Email: kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
株式会社エアロネクスト/株式会社NEXT DELIVERY 広報部 (担当: 伊東)
Tel: 03- 6455-0626 Email: info@aeronext.com

資料

*1 物流専用ドローン AirTruck

次世代ドローンのテクノロジースタートアップ、株式会社エアロネクストが ACSL と共同開発した日本発の量産型物流専用ドローン。エアロネクスト独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY^{®*2}により安定飛行を実現。荷物を機体の理想重心付近に最適配置し、荷物水平と上入れ下置き機構で、物流に最適なユーザビリティ、一方向前進特化・長距離飛行に必要な空力特性を備えた物流用途に特化し開発した「より速く より遠く より安定した」物流専用機です。日本では各地の実証地域や実証実験で飛行しトップクラスの飛行実績をもち、海外ではモンゴルで標高 1300m、外気温 -15℃という環境下の飛行実績をもつ (2023 年 11 月)。最大飛行距離 20km、ペイロード (最大可搬重量) 5kg。

*2 機体構造設計技術 4D GRAVITY[®]

飛行中の姿勢、状態、動作によらないモーターの回転数の均一化や機体の形状・構造に基づく揚力・抗力・機体重心のコントロールなどにより空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させるエアロネクストが開発した機体構造設計技術。エアロネクストは、この技術の特許化し 4D GRAVITY[®]特許ポートフォリオとして管理している。4D GRAVITY[®]による基本性能の向上により産業用ドローンの新たな市場、用途での利活用の可能性も広がる。

【上松町とは】

上松町は長野県の南西部、木曽郡のほぼ中央部に立地し、東西 24.5 km、南北 13 km、総面積 168.42 km² の東西に長い地形です。そして、東には木曽駒ヶ岳 (2,956m) を主峰とする中央アルプス山系が連なり、西には卒塔婆山 (1,541m)、台ヶ峰 (1,503m) などの山々が連なっています。町の中央部を北から南へ木曽川が貫流し、それに沿って国道 19 号、木曽川右岸道路、JR 中央本線が並行して走っています。木曽川左岸には木曽駒ヶ岳に源を持つ滑川、十王沢ほか中小河川の急流が木曽川に注ぎ、右岸にも国有林から小川が流入しており、いずれも急峻な地形を呈しています。これらの河川は幽玄な渓谷を形づくり、木曽五木の森林地帯を流れ、奇勝絶景をなしています。また、総面積の 95%が森林であり、そのうち 69%と大半を国有林が占めています。耕地や宅地は、合わせてもわずか 3%しかありません。この耕地や宅地は主に、河川沿いの台地、標高 550m から 1,100m の地域に集積しています。国内森林浴発祥の地として名をはせる赤沢自然休養林では、施設・エリアが「森林セラピー基地」として認定を受け、赤沢の森林浴が医学的にもリラックスできることが実証されました。
*詳細は <https://www.town.agematsu.nagano.jp/> をご覧ください。

【大桑村とは】

長野県の南西部に位置する大桑村は、東西 30km、南北 10km、総面積 234.47 平方 km の山村です。東は南駒ヶ岳をはじめとする中央アルプスの山々、南は南木曽町、北は上松町、西は岐阜県中津川市及び王滝村へ隣接。地形は急峻で、村の総面積の 96%を山林が占めています。中央部を北東から南西に流れる木曽川に沿って国道 19 号、JR 中央線が走っています。集落及び耕地は、木曽川とその支流の伊奈川などの流域 (標高 500~800m) に点在しています。
*詳細は <https://www.vill.okuwa.lg.jp/> をご覧ください。

【南木曽町とは】

南木曽町は、長野県の南西部・木曽谷の南端に位置し、岐阜県との県境にある町です。総面積は 215.93k m² で東西 20km、南北 15km、周囲 70km の山間地であり、木曽川とその支流の与川・柿其川・蘭川・坪川等により形成された狭い段丘上に、与川・北部・三留野・妻籠・蘭・広瀬・田立の 7 集落と農用地が細長く点在し、各集落の標高は約 300m から約 950m におよんでいます。また、町の面積の 9 割は森林で占められており、そのうち約 70%が国有林です。町の中心部を流れる木曽川沿いには南北に JR 中央線と国道 19 号が走り、東西には国道 256 号が伊那谷に通じています。隣県の中津川市中心部まで約 20km、県内近隣市町村の木曽町まで約 35km、飯田市まで約 35km の距離にあり、古来より伊那谷、木曽谷を結ぶ交通の要衝でした。

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

急峻な斜面が多く平坦面が少ない地形を作っています。また気候的には温暖ながら雨量が多く、年間降水量は多い年で2,500mmから3,000mmに達します。このような地形と気候により、過去より幾多の土石流災害を引き起こす一方で豊かな森林資源を育み、町は古くから木材生産・木工業を基幹産業としてきました。国選定重要伝統的建造物群保存地区の妻籠宿や、国の近代化遺産に指定された桃介橋をはじめとする恵まれた文化遺産等をはじめとする観光産業が町の主要産業に位置付けられています。

*詳細は <https://www.town.nagiso.nagano.jp/> をご覧ください。

【木曽広域連合とは】

長野県木曽地域の特別公共団体です。介護保険・消防・環境・地域振興・森林経営管理・文化教育・ケーブルテレビなど、規約により31の広域行政を担っています。

*詳細は <https://www.kisoji.com/> をご覧ください。

【長野県木曽地域振興局とは】

木曽地域振興局は、長野県が設置する現地機関です。木曽町・上松町・南木曽町・木祖村・王滝村・大桑村の6町村で構成される木曽地域で生じている課題やニーズを的確に把握し、関係機関と連携してスピード感を持って主体的・積極的に課題解決に当たる組織です。

*詳細は <https://www.pref.nagano.lg.jp/kisochi/somu-kankyo/> をご覧ください。

【株式会社エアロネクストとは】

IP経営を実践する次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、エアロネクストは、「新しい空域の経済化」をビジョンに、空が社会インフラとなり、経済化されて、ドローンで社会課題を解決する世界を生み出すために、産業用ドローンの技術開発と特許化、ライセンスビジネスを行っています。コアテクノロジーは、重心、空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる、独自の構造設計技術4D GRAVITY®。この4D GRAVITY®を産業用ドローンに標準搭載するため強固な特許ポートフォリオを構築し、4D GRAVITY®ライセンスに基づくパートナーシップ型のプラットフォームビジネスをグローバルに展開しています。また、ドローンを活用した新スマート物流SkyHub®の実現のために戦略子会社NEXT DELIVERYを設立し、ドローン配送サービスの社会実装、事業化にも主体的に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

【株式会社NEXT DELIVERYとは】

エアロネクストグループのミッション「人生100年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ」に基づき、2021年に山梨県小菅村に設立されたドローン配送を主事業とするエアロネクストの戦略子会社。エアロネクストとセイノーHDが共同で開発し展開する、既存物流とドローン物流を繋ぎこんだ新しい社会インフラとなる新スマート物流の仕組みSkyHub®の企画運営、全国展開を推進しており、共同配送とドローン配送に関わるハード及びソフトウェアの開発、販売、運用及び保守事業等の周辺事業も展開しています。山梨県小菅村を皮切りに、北海道土幌町、福井県敦賀市等、全国各地で地域物流の効率化と地域社会の課題解決に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。